

2023年 3月 1日

## 博士論文審査報告書

札幌市立大学大学院  
看護学研究科長 様

### 看護学研究科博士論文審査会

審査員（主査）	菊地 ひろみ
審査員（副査）	松浦 和代
審査員（副査）	卯野木 健

学位申請者氏名	吉野 靖代	学籍番号	1975004
申請学位	博士	専門分野	看護学
論文題目	ICU入室前のソーシャルサポートとICU退室後のメンタルヘルスの関連 Relationship between social support before ICU admission and post-discharge mental health symptoms in ICU patients		
審査日程	2023年1月20日（金）本審査 2023年2月9日（木）公開発表会		
審査結果	<input checked="" type="checkbox"/> 合格 <input type="checkbox"/> 不合格		

## 審査結果の要旨

本論文は、ICU 退室後の患者の QOL に影響を及ぼす要因として ICU 入室前のソーシャルサポートに注目した。ICU 入室前のソーシャルサポートが、ICU 退室後の患者のメンタルヘルス症状の関連因子であることを仮説として、前向きコホート研究デザインにより仮説を検証し、予測モデルを作成することを目的としている。

2022 年 11 月 8 日（火）に実施した博士論文予備審査会を経て、博士論文審査（本審査）を実施した。審査所見は以下の通りである。

本研究は、集中治療の進歩に伴い増加する ICU 退室後患者の QOL 支援に対する基礎資料として臨床的意義が認められる研究である。

COVID-19 による中断期間をはさんで、1 年 7 か月にわたり 315 名の患者を登録した。評価尺度にソーシャルサポート尺度、PTSD 尺度、不安抑うつ尺度を用い、ICU 退室後 1 回目調査を 203 名に対して実施し、ICU 退室 3 か月後の 2 回目調査を 153 名に対して実施した。

分析の結果、ICU 入室前のソーシャルサポートと ICU 退室後の PTSD 症状、不安症状との関連は認められず、抑うつ症状の関連因子であることが明らかとなった。また、予測モデルの予測能は十分に得られなかった。

分析プロセスを明確に示して作業仮説に対する結果を忠実に論述しており、ICU 退室後の患者のメンタルヘルスには他の要因が関連することを考察し、患者の心理的な特徴を含めた、多角的な検討の必要性を論述している。

ICU 入室前のソーシャルサポートと ICU 退室後のメンタルヘルスとの関連に着目した点は独創的であり、支持されなかった仮説及び予測モデルの作成に至らなかった結果に対して論理的に考察し、今後の研究の進展について論述している。

以上、本論文が博士論文審査の視点および審査基準を満たしており、審査過程を通して、学位申請者が論文内容を十分に把握していることを確認した。

本審査会は、本論文が博士（看護学）に相応しい内容であると判断し、博士論文として「合格」と判定する。